

2009年11月27日
グリーン・グリッド (The Green Grid)

<ご参考資料>

グリーン・グリッドが日本データセンター協会と提携 ～エネルギー効率に優れ、国際競争力の高いデータセンターを推進～

データセンターおよびビジネス・コンピューティング全般のエネルギーの効率化に取り組む世界規模のコンソーシアムであるグリーン・グリッド(The Green Grid、本部:米国オレゴン州ビーバートン)は、本日、日本のデータセンター事業の強化・発展にとりくむ特定非営利活動法人(NPO 法人)日本データセンター協会(以下、JDCC)と提携し、データセンターの省電力化を推進するための各種活動に対し、共同で取り組むことに合意したと発表しました。

両団体は、今後、下記4項目の活動を通して、エネルギー効率に優れた、国際競争力の高いデータセンターの構築を推進していきます。

- ①市場調査を通してデータセンターにおける実務・運用に関わる人材の条件を検討する
- ②市場調査を通してデータセンター建設・設備における日本特有の要件事項をまとめる
- ③合同会議を通してグリーン・グリッドの「データセンター・デザインガイド」への記載事項を協議する
- ④データセンターの効率化を測定する指標を同期する

両団体の提携により、エンドユーザやデータセンター関係者は、グローバルな視点での業界情報・知見を迅速に享受できます。

JDCCの理事長 白川 功(兵庫県立大学教授、大阪大学名誉教授)は以下のように述べています。「JDCCはこのたびのグリーン・グリッドとの提携を心から喜んでいます。JDCCによって発信される日本のデータセンターの高品質な技術・ノウハウが、国内はもちろん、グローバルレベルでデータセンターのエネルギー効率化に寄与するとともに、地球温暖化に大きく貢献することを確信しています」

グリーン・グリッド日本技術委員会の田口栄治は、「日本データセンター協会の会員の皆様の日本の実情にあった多くの情報やきめの細かい意見を反映させることで、『データセンター・デザインガイド』がさらに充実すると期待しています」と述べています。

また、グリーン・グリッドの運営委員会を代表してジョン・タッシーロ(John Tuccillo)は次のように述べています。「日本における日本データセンター協会の取り組みは、日本の施設やITエンドユーザにとって大きな違いを生み出します。JDCCと密接に協力して、現在、開発中のグローバルの指標と基準が、確実に日本のニーズに合い、広く採用されるよう取り組んでいきます」

今後も両団体は、データセンターのエネルギー効率化に向けたさらなる技術的な協業の強化を図っていく予定です。

日本データセンター協会について

日本データセンター協会(JDCC)は、データセンター事業者およびデータセンター関連の事業者との連携と協力を促し、データセンター事業に対する社会的な要請に応え、日本の産業発展の情報基盤としてのデータセンター事業の強化・発展に寄与するために設立された特定非営利活動法人です。2009年11月27日現在で、特別会員(4)正会員(69)賛助会員(16)の会員を有しています。JDCCに関する詳細については、<http://www.jdcc.or.jp/>をご覧ください。

グリーン・グリッドについて

2007年に設立されたグリーン・グリッドは、世界各地の会員企業によって構成される業界団体として、データセンターおよびビジネス・コンピューティングにおけるエネルギーの効率化を推進しています。グリーン・グリッドは、特定企業の製品あるいはソリューションを推奨するのではなく、データセンターにおけるエネルギー効率の改善に必要なベストプラクティス、指標および技術を業界全体の視点から提供することを目指しています。

グリーン・グリッドに関する詳細については、www.thegreengrid.org/japaneseをご覧ください。

###

【報道関係からのお問い合わせ先】

グリーン・グリッド広報担当(フォーカスト・コミュニケーションズ株式会社) 水本/中村
Tel: 03-5157-0033 Eメール: japanpr@lists.thegreengrid.org

【読者からのお問い合わせ先】

グリーン・グリッド事務局 Eメール: admin@lists.thegreengrid.org